

高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム ～森林理想郷の伝統農林業と文化を未来へ繋ぐ～



世界農業遺産

平成27年12月認定



宮崎県高千穂郷・椎葉山地域



高千穂郷・椎葉山地域では、面積の約92%が森林を占める平地が極めて少ない状況下において、自然と調和した「山間地農林業複合システム」を構築してきました。そこには、農林業だけでなく、古来からの伝統文化を継承する強固な地域コミュニティが存在し、当地域のシステムの要となっています。

伝統文化



古来から生まれ育まれてきた伝統文化が今も息づいています。五穀豊穡や集落の安寧を祈願する神楽は当地域を代表する伝統文化で、約90の神楽保存会が現存しています。

地域コミュニティ



厳しい環境下において、農林業や伝統文化を継承するには、地域コミュニティの存在が不可欠であり、人々の手によって山間地農林業複合システムが成り立っています。

複合システム



棚田での稲作、野菜・果樹・花卉の生産、林業、畜産など、土地や季節に応じて、複合的な経営が営まれています。また、椎葉村では森林と共存する循環的農業として焼畑も行われています。

山腹用水路



傾斜地にある棚田に水を確保するために、急峻な山腹に建設された山腹用水路。最古のものは、江戸時代中期頃に建設されました。総延長は約500kmになり、約1,800haの棚田に水を供給しています。

私たちの暮らしを支えている、高千穂郷・椎葉山の「山間地農林業複合システム」



世界農業遺産認定による効果

戦略推進事業

- ・ **宮崎大学GIAHS研究会の発足**
国立大学法人宮崎大学において、当地域の調査研究を行う「GIAHS研究会」が発足しました。当地域のシステムについての様々な調査研究を行うとともに、年に1回の研究成果報告会を開催しています。
- ・ **他地域との連携事業**
熊本県及び大分県と連携し、2019年から3県合同でのPRイベントを開催しています。また、宮崎県内で日本農業遺産に認定された日南市及び田野・清武地域とも連携し、2022年に合同シンポジウムを開催しました。
- ・ **開発途上国における世界農業遺産人材育成事業の受入れ**
FAO駐日連絡事務所が実施する研修事業の一環として、ペルー共和国及びコロンビア共和国の大使館の視察を受入れました。2泊3日の行程で、高千穂町、五ヶ瀬町、椎葉村を訪問し、当地域の世界農業遺産関係者と意見交換するとともに、高校生との交流事業も実施しました。

人材育成事業

- ・ **世界農業遺産3者連携協定の締結**
宮崎大学、高千穂高等学校、世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会の3者が連携協定を締結しました。当地域の価値を学術的な観点から明らかにすることと認定を人材育成に活かすことを目的としています。
- ・ **世界農業遺産教育プログラム「GIAHSアカデミー」の開講**
世界農業遺産について学び、地域に自信と誇りを持つことを目的に、高校生を対象にGIAHSアカデミーを開講しました。なお、高千穂高校ではGIAHSアカデミーは特別クラブとなり、五ヶ瀬中等教育学校ではGIAHS地域を基盤とした教育コンソーシアムが構築されるなど、世界農業遺産を取り入れた学校独自の取組も始まっています。



▲GIAHSアカデミーの活動風景

広報宣伝事業

- ・ **PRイベント「パワーフードウィーク」の開催**
宮崎市内のスーパーと連携し、2018年から毎年、世界農業遺産のPRイベント「パワーフードウィーク」を開催しています。当地域の特産品を使用した惣菜・お弁当等の販売や、直売所や道の駅等による店頭販売を実施し、世界農業遺産認知度向上と当地域への経済効果をもたらしています。
- ・ **GIAHSアンバサダーの委嘱**
地域内外の当地域の認知度を向上させることを目的に、アルピニストの野口健氏にGIAHSアンバサダー（広報大使）を委嘱し、野口氏による講演や、小学生との交流事業等を実施しました。
- ・ **GIAHSビジネスマネージャーの委嘱**
当地域の5町村で構成する一般社団法人ツーリズム高千穂郷が、事業の収益性を高めるためにGIAHSビジネスマネージャーを新たに委嘱しました。2023年から活動し、新たな特産品の開発等に取り組んでいます。

数値目標の推移(一部抜粋)

- 農林業新規就業者数: 年平均20人(2021~2023)
- スマート農林業実証数: 17回(2021~2023)
- 焼畑火入れ面積: 110a(2018)→200a(2023)
- GIAHS研究会による調査研究: 63件(2016~2023)
- 神楽保存団体数: 97団体(直近5年で変化無し)
- 民間事業所等のロゴマーク使用件数: 62件(累計)
- GIAHSアカデミー生による世界農業遺産出前授業数: 15回(2021~2023)
- 小中高生における世界農業遺産の認知: 95.2%(2022)
- 世界農業遺産をテーマとしたツアー商品数: 24商品(2021~2023)